

平成20年院内がん登録状況 (2008年1月1日-2008年12月31日新規診断分)

◎ 登録がん患者数 630件

【口唇、口腔、咽頭】	登録数	病期 (UICC)					
		0	I	II	III	IV	X
C01 舌根部	1					1	
C02 舌	7		2	3	1	1	
C03 歯肉	1					1	
C04 口腔底	1			1			
C05 口蓋	1				1		
C06.2 他口腔(臼後部)	1					1	
C09 扁桃	3		1			2	
C10 中咽頭	3					3	
C11 鼻咽頭	2				2		
C12 梨状陥凹	1					1	
C13 下咽頭	1					1	
計	22		3	4	4	11	

【消化器】	登録数	病期 (UICC)					
		0	I	II	III	IV	X
C15 食道	23	2	4	3	4	8	2
C16 胃	99		46	7	8	27	11
C17 小腸	4		1	1	1		1
C18 結腸	65	22	8	12	9	11	3
C19 直腸S状結腸移行部	8	1	3	1	2	1	
C20 直腸	27	4	6	6	4	5	2
C22 肝	10		7	1	2		
C23 胆嚢	8			3	2	3	
C24.0 肝外胆管	5			2		1	2
C24.1 ファーテル乳頭膨大部	3		3				
C25 膵	24		2	3	9	9	1
計	276	29	80	39	41	65	22

【呼吸器、胸腔内】		登録数	病期 (UICC)					
			0	I	II	III	IV	X
C31	副鼻腔	1				1		
C32	喉頭	4		2	1	1		
C34	肺	74		17	4	31	22	
C37	胸腺	1						
C38.1	縦隔	1						
	計	81		19	5	33	22	

【皮膚】		登録数	病期 (UICC)					
			0	I	II	III	IV	X
C44	皮膚	11	3	1	1	1		5

【乳房】		登録数	病期 (UICC)					
			0	I	II	III	IV	X
C50	乳房	42	3	24	11	1	3	

【女性性器】		登録数	病期 (UICC)					
			0	I	II	III	IV	X
C52	膣	2	2				1	
C53	子宮頸	12	7	3	2			
C54	子宮体	5		2		2	1	
C56	卵巣	7		3		3	1	
C57	卵管	1		1				
	計	27		9	2		3	

【男性性器】		登録数	病期 (UICC)					
			0	I	II	III	IV	X
C61	前立腺	56			27	21	7	1
C62	精巣	1				1		
	計	57			27	22	7	1

【尿路】	登録数	病期 (UICC)					
		0	I	II	III	IV	X
C64	腎	9	5		1	3	
C65	腎盂	6		1	2	3	
C66	尿管	5	1		1	3	
C67	膀胱	24	10	7	5	1	1
C680	尿道	1		1			
C689	尿路系	1					1
	計	46	10	13	7		11

【眼及び付属器】	登録数	病期 (UICC)					
		0	I	II	III	IV	X
C690	結膜	1					

【髄膜、脳】	登録数	
C71	脳(悪性)	3
D32	髄膜(良性)	4
D33	脳(良性)	8
D35	内分泌腺(良性)	1
	計	16

【甲状腺、内分泌腺】	登録数	病期 (UICC)					
		0	I	II	III	IV	X
C73	甲状腺(45歳以上の乳頭、濾胞、髄様癌)	9	4		3	1	1

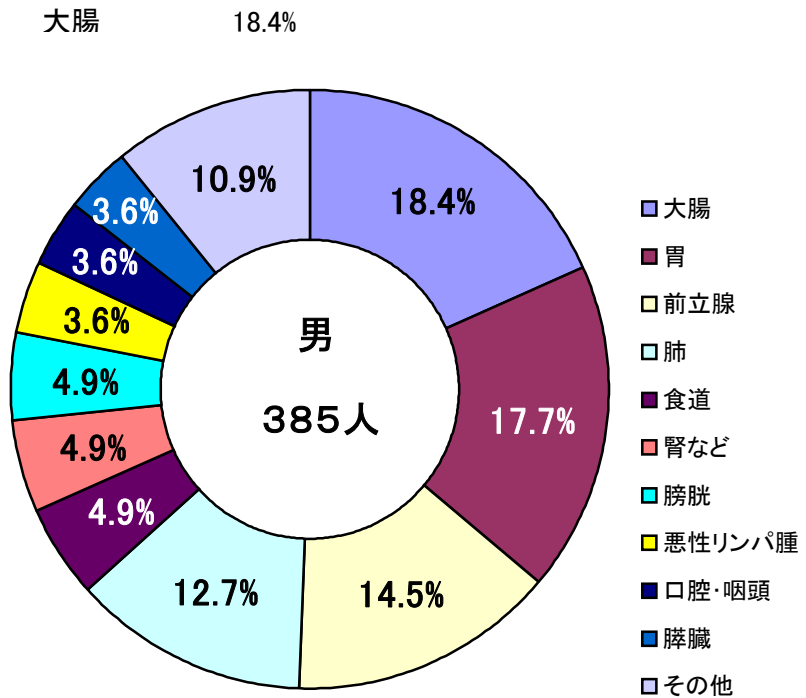
【原発部位不明】	登録数	
C80	原発部位不明	4

【リンパ・造血組織】	登録数	病期 (Ann Arbor分類)					
		0	I	II	III	IV	X
C82-C85	非ホジキンリンパ腫	24	4	18		1	1
C90	多発性骨髄腫	4					
C91-C95	白血病	7					
D46	骨髄異形成症候群	3					

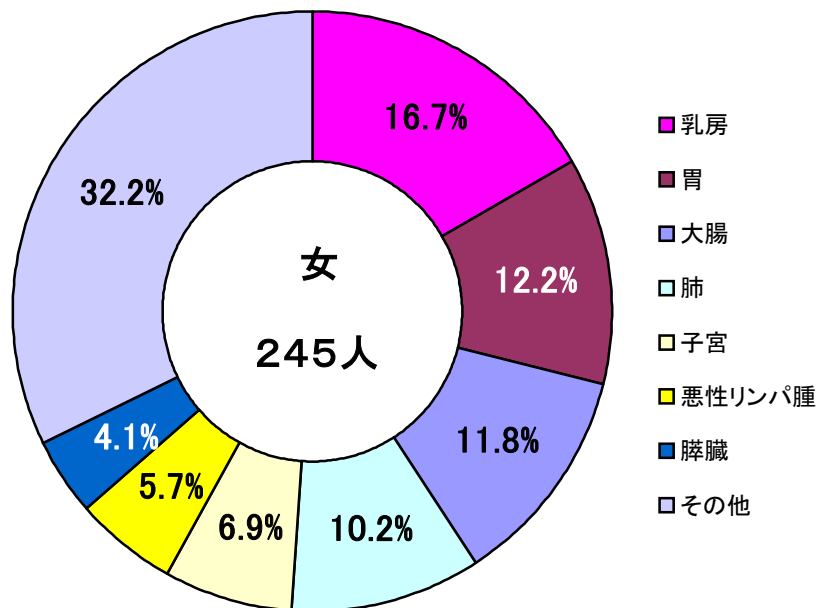
【性別・部位別】

2008年由利組合総合病院のがん登録患者数は男性が385人、女性245人でした。
 男性で最も多いのは大腸癌であり、次いで胃癌、前立腺癌、肺癌、食道癌の順でした。
 女性では、乳癌が最も多く、次いで胃癌、大腸癌、肺癌、子宮癌の順でした。

順位	男	人数
1	大腸	71
2	胃	68
3	前立腺	56
4	肺	49
5	食道	19
6	腎など	19
7	膀胱	19
8	悪性リンパ腫	14
9	口腔・咽頭	14
10	膵臓	14
11	その他	42

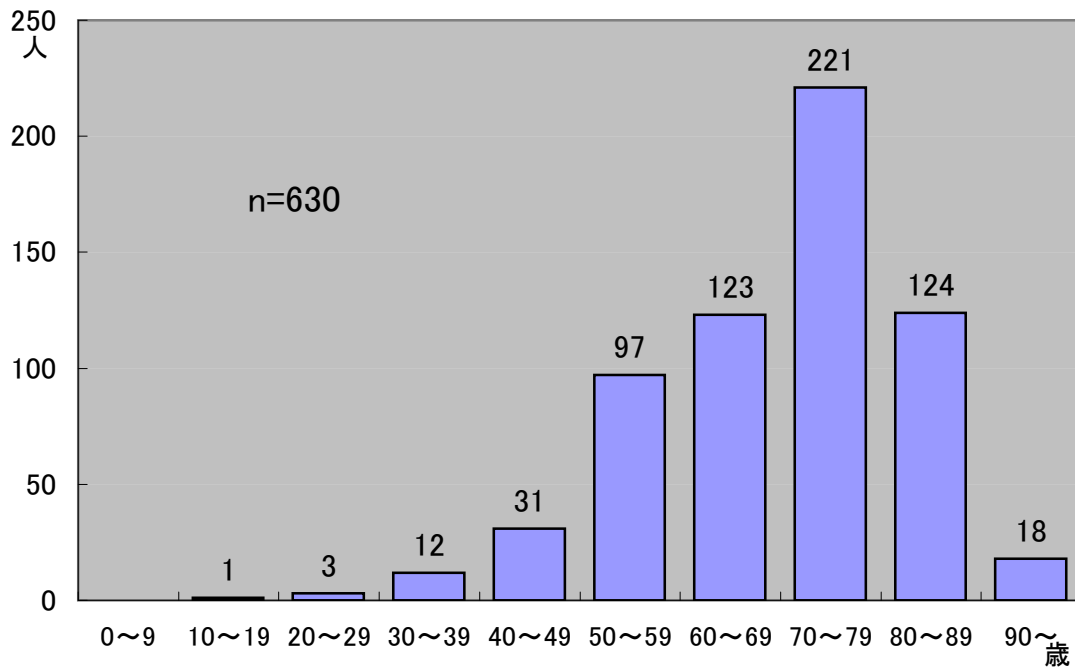


順位	女	人数
1	乳房	41
2	胃	30
3	大腸	29
4	肺	25
5	子宮	17
6	悪性リンパ腫	14
7	膵臓	10
8	その他	79



【年齢階層別】

70歳代が最も多く、次いで80、60、50歳代の順でした。

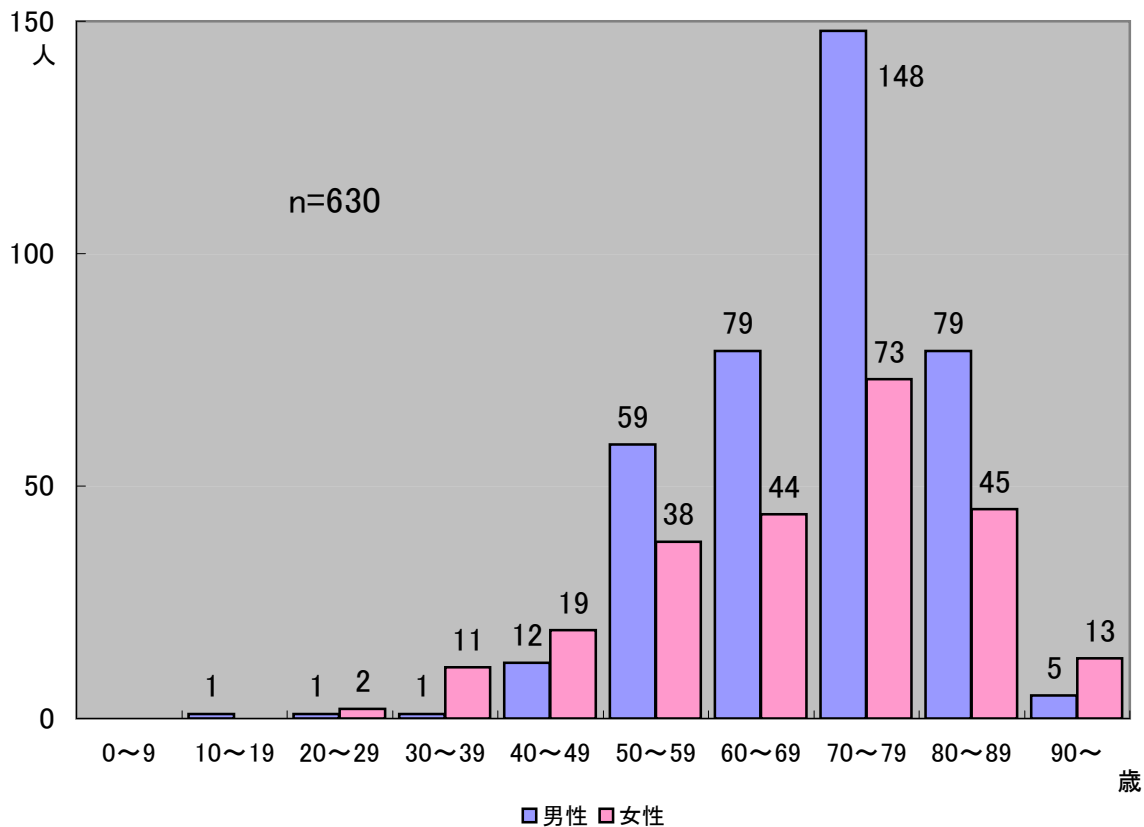


【性別・年齢階層別】

男性では70歳代が最も多く、次いで60、80、50歳代の順でした。

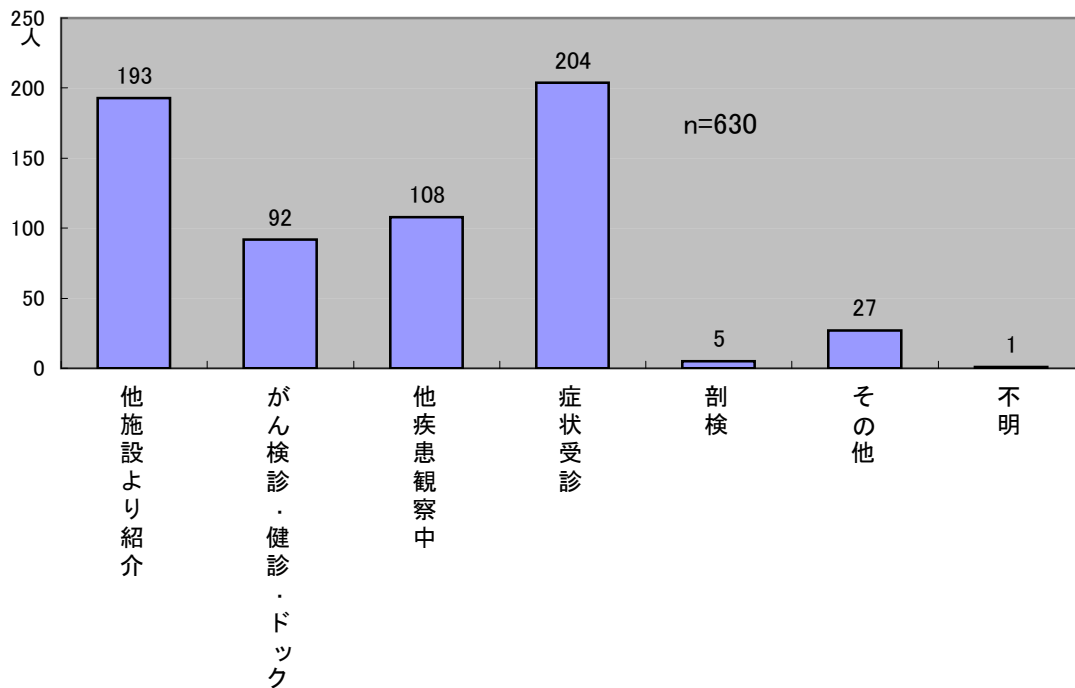
女性は70歳代が最も多いが、次いで80、60、50歳代の順となっています。

女性は70歳代が最も多いが、次いで80、60、50歳代の順となっています。



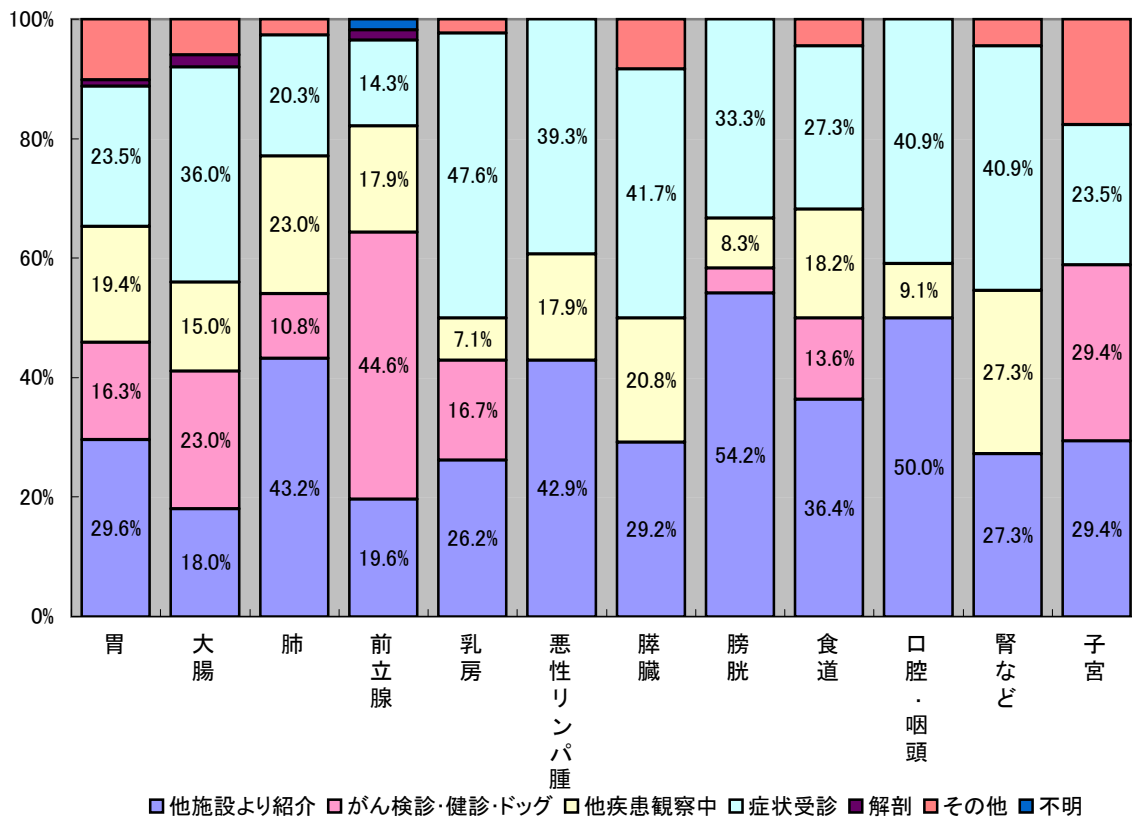
【発見経緯】

がん発見の契機となった事項は症状受診が204人(32.4%)、他施設より紹介が193人(30.6%)で、がん検診・健康診断・ドックが発見契機となったのは92人(14.6%)でした。



【部位別発見経緯】

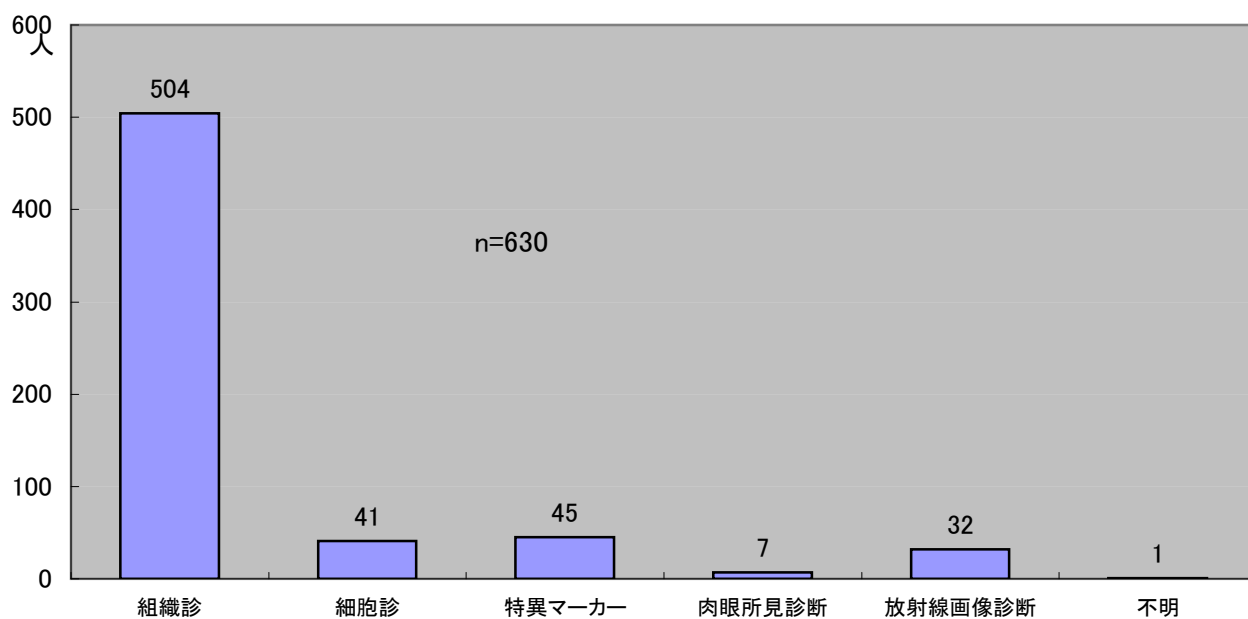
部位毎に特徴があり、がん検診・健診・ドックでの発見は前立腺、子宮がんが比較的高くなっています。



■ 他施設より紹介 ■ がん検診・健診・ドック ■ 他疾患観察中 ■ 症状受診 ■ 解剖 ■ その他 ■ 不明

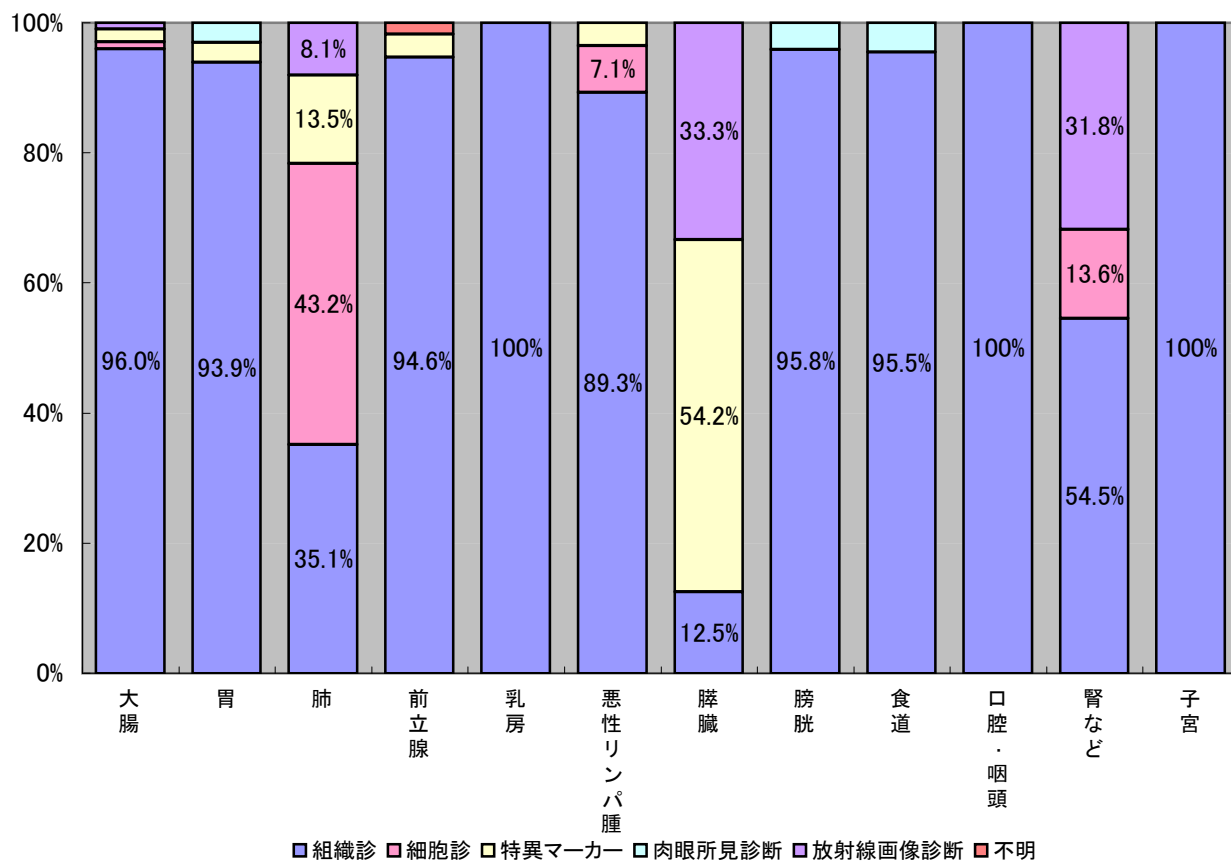
【診断根拠】

組織診断と細胞診の顕微鏡的検査が全体の86.5%に施行され、うち組織診断の頻度は80%でした。



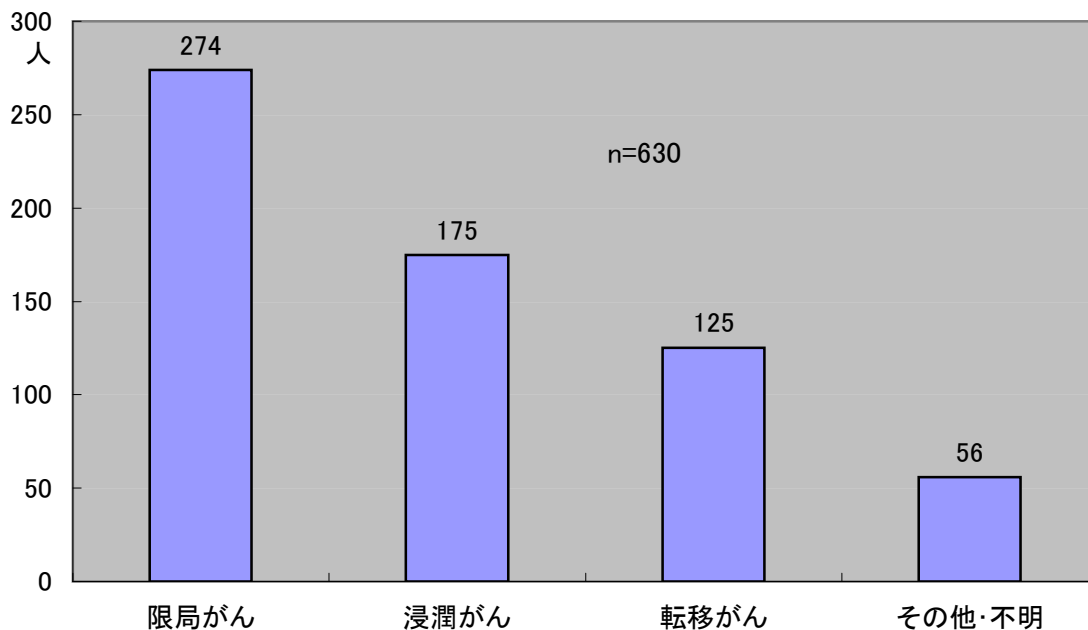
【部位別診断根拠】

胃、大腸、乳房、前立腺、膀胱、食道、口腔・咽頭、子宮は90%以上に組織診が行われていました。



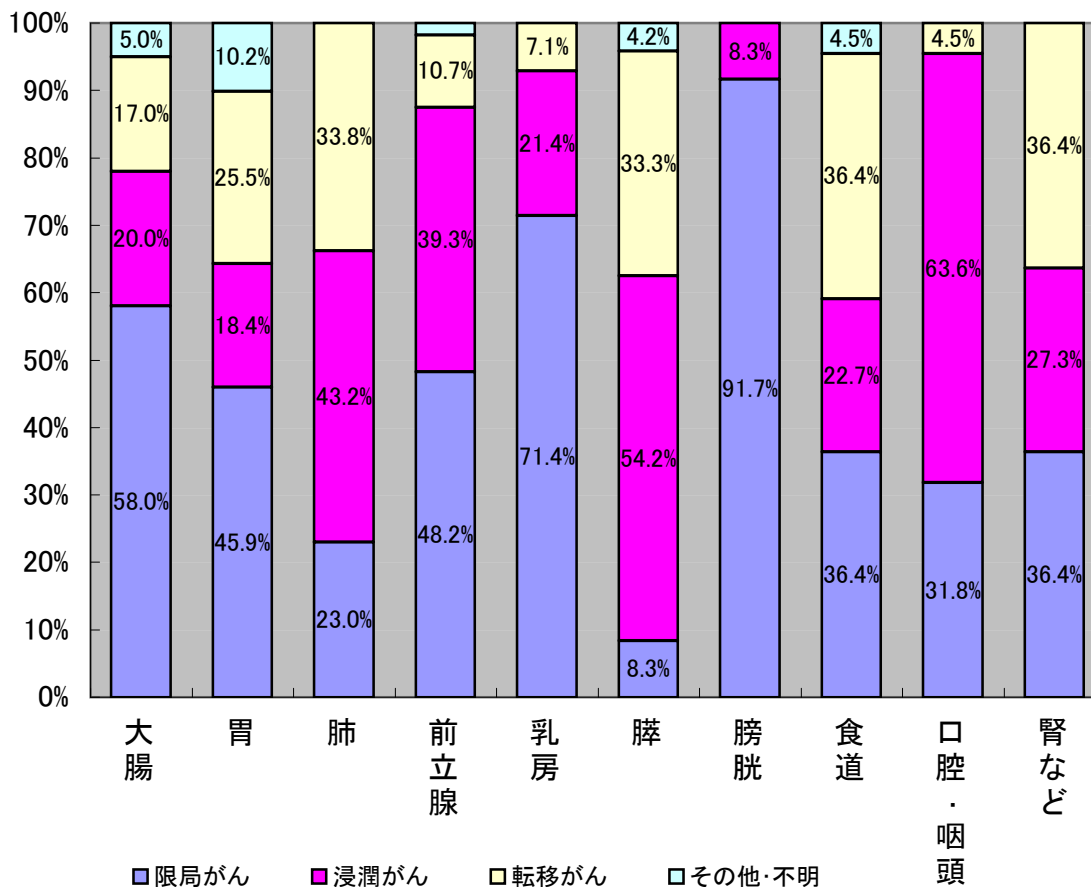
【臨床進行度】

限局がん(上皮内がん・臓器内限局)269人(43.5%)、浸潤がん(所属リンパ節転移・隣接臓器浸潤)175人(27.8%)、転移がん125人(19.8%)、その他・不明56人(8.9%)でした。



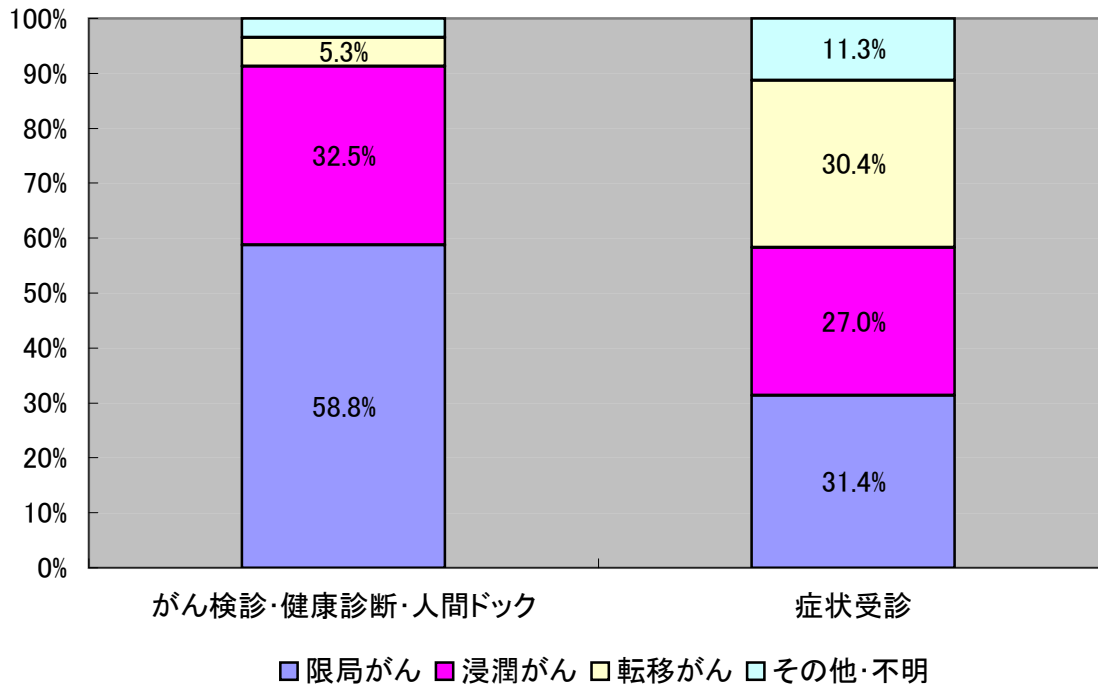
【部位別臨床進行度】

限局がんは膀胱(91.7%)、乳房(71.4%)、大腸(58.0%)が多く、浸潤がんは口腔・咽頭(63.6%)、睪(54.2%)となっています。



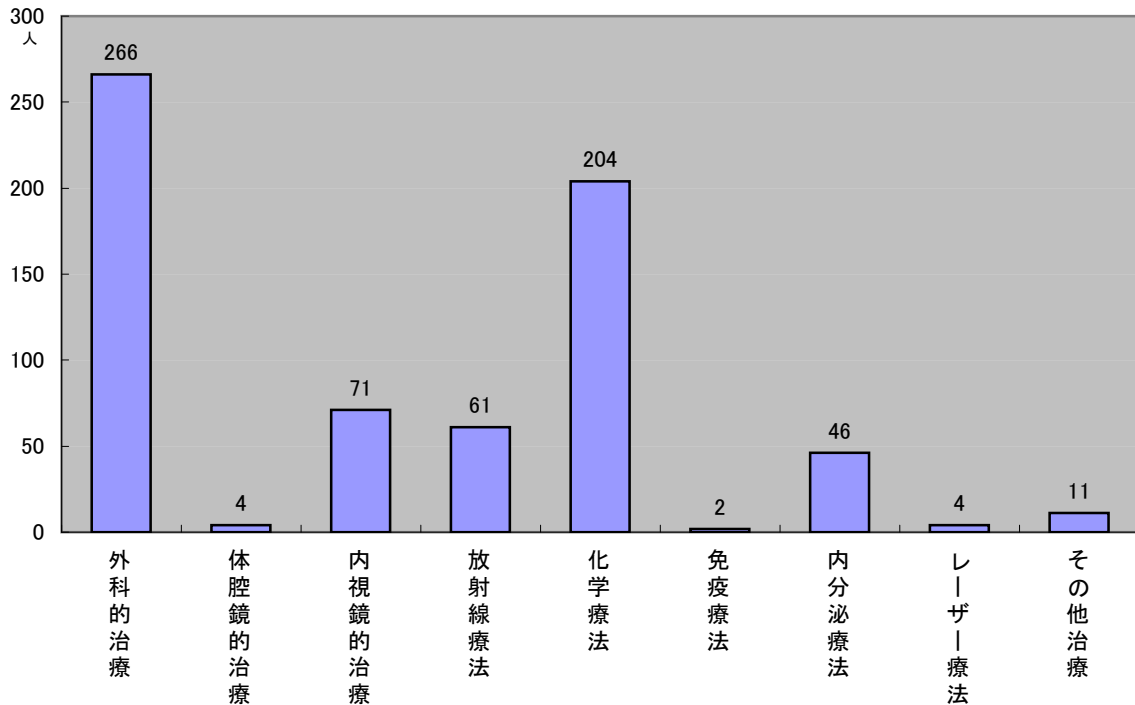
【発見経緯と臨床進行度】

がん検診・健康診断・人間ドックの限局がんが58.8%に対して症状受診では31.4%という結果でした。



【治療内容】

がんに対する初回治療として選択された治療法をみると、外科的治療39.8%、体腔鏡的治療0.6%、内視鏡的治療10.6%、放射線療法9.1%、化学療法30.5%の症例において実施されていました。



【部位別治療内容】

手術療法は大腸(82.5%)、胃(70.2%)、膀胱(60.5%)、放射線療法は食道(39.1%)、口腔・咽頭(29.4%)、肺(21.7%)、化学療法は膵(66.7%)、肺(53.0%)、食道(43.5%)、内分泌療法では前立腺(40.0%)、乳房(28.2%)においてそれぞれ多用されています。

